

補正案
設計費に8811万円を設計
筑

<p>【総務費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域づくり振興基金積立金 19,550万円 ■板谷波山記念館施設整備等事業基金積立金 11,700万円 ■団地排水建設事業基金積立金 11,063万1,000円 	<p>う整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■基本・実施設計委託料 881万円 ■地域ケア基盤整備推進事業費補助金 11,791万1,000円 ■浄化槽設置費補助金 11,963万1,000円
<p>【民生費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■放課後児童クラブ施設整備事業費 10,84万6,000円 ■認定こども園せきじょ 	<p>【土木費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■道路橋梁維持管理経費 □植栽管理・除草委託料 11,500万円 ■道路維持補修事業

し尿処理施設の設備更新

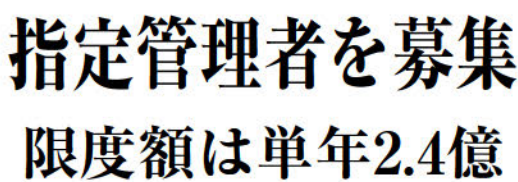
では、緊急的な設備の更新
 を行うため1711万60
 00円を計上した。

沼沼ラムサル条約に係
 る施設等整備事業は、ラム
 サール条約登録湿地である
 沼沼の豊かな自然を鑑覧す
 るため、水鳥湿地センタ
 ーと公園を整備するもの。

今回の補正は、基盤整備
 工事費を増額したもの。公
 園の敷地は堤防沿いに位置
 しているが、堤防と公園置
 地の間には土側溝がある。
 住民からの要望もあり、設
 計を変更してこれを整地す
 ることとしたため、新たに
 暗渠排水管を整備する。整

理施設の設備更新 鉾田

茨城港と鹿島港／CNP-WGが会合



真)。 会合は非公開で行われ、二酸化炭素排出量の推計や水素・アンモニアの需要推計などを基に、必要となる施設規模を算定。また、茨城港および鹿島港における将来のCNP形成イメージ

クロツケ―場現状回復下

頃には発注したい考え。
補正予算案の主な内容は、
次のとおり。

【総務費】
■公有財産利活用調査委
託料増1275万円

汚水処理普及率

《本県状況》

国はこのほど、全国の汚水処理人口普及率を公表した。それによると、本県の水処理人口普及率における汚水処理人口普及率は86%で、対前年度比0・4ポイント上昇した。全国順位は前年度と同じ31位だった。

県内を市町村別でみると、1位は守谷市で100%。次いで五霞町が99

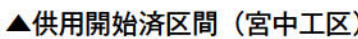
●不在
○在序
午前午後
課

指導課長
課長
課長
監
振興監
局長
(技)
(事)

事業概要

前川では市道橋架け替え

県潮来土木事務所は、幹線道路のバイパス整備4車線化、河川整備、海岸浸食対策などの事業を進めている。本年度の事業概要として、国道355号牛堀・麻生バイパスや都市計画道路宮田佐田線、県道潮来佐原線では道路改良舗装工事を推進。一級河川前川では市道橋の架け替えを行う。鹿嶋・波崎海岸の侵食対策として粗粒材による養浜工事を進める。



鹿行南部の社会資本整備を推進

国道301号は、潮来市（旧牛堀町）及び行方市（旧生町）の市街地を通過している道路で、朝夕には主として通勤・通学に交差点等において慢性的な交通渋滞が発生し、交通の滞りや住民生活の安全確保、災害時における緊急輸送道路のネットワーク機能確保目的としてバイパスを準備を進めている。本年度は本市内で道路改良舗装工事を実施。

都市計画道路宮中佐田線（鹿嶋市の中心市街地を南に接続し、国道51号や国道4号などとの広域幹線道路を結ぶ。鹿嶋市内における交通の円滑化や地域の連携強化、さらに災害時における緊急輸送道路としても重要な路線。

1992年度から事業着手し整備を進めてきたが、東日本大震災の教訓踏まえ、同路線の重要性が高まったことから、2022年度からは復興予算を用いて重点的に整備を進めている。本年度は鹿嶋市市内で道路の改良舗装工事を行う。

景道潮来佐原線は景道戸神穂線と潮来大橋を結び、潮来市街地と東関東自動車道路（潮来IC）にクセスする重要な幹線道路。朝夕において慢性的

鹿行南部の

交通渋滞が発生しているため、交通の円滑化や住民の安全確保、「水郷潮来あやめ園」へのアクセス向上を目的として、道路改良事業（4車線化）を行っている。本年度は潮来地内の500

土木来潮県

郷情情緒が醸み出された景勝地。しかし、台風などの大雨によりしばしば浸水被害が発生してはいる。

そのため、1989年度に河川改修事業に着手。現在は潮来市と共同で策定した「前川かわまちづくり計画」に基づき、流下能力の増大を図るとともに景観や環境に配慮した川づくりを進めている。本年度は真柱橋架け替えのための下土工事を実施。

強工事を実施。災害時の輸送ルートを確保する。

主要事業の概要は次のとおり（■事業名）①全体計画②事業年度③本年度事業概要。

■国道355号牛堀・麻生バイパス整備事業①①1万860m、潮来土木管内2500m、内1200m供用済、W25/14m（暫定2車線12・5/7m）。総事業費1800億円②1997年度③道路改良舗装

鹿嶋海岸及び波崎海岸では、河川からの供給土砂減少や、港湾等の大規模構造物により沿岸漂砂が遮断されたことにより、砂浜の侵食地域と堆積地域が遍在するようになった。

そのため、侵食防止と砂浜の回復を目的として「ヘッドランド（人工岬）」と養浜を組み合わせた「侵食対策事業」を行ってきた。

波崎海岸などでは一定の効果は得たものの、鹿嶋市神向寺地区海岸など一部の海岸では、ヘッドランド事業実施前からの著しい侵食によって大部分の砂浜が失われてしまったため、2005年度から粗粒材による養浜工事を進めている。

工事

■都市計画道路3・3・6
9号宮中佐田線整備事業Ⅱ
①L1955m、W1414
②供用済、W2213m
③供用済、W2213m
総事業費1200億円②1992年度③道路改良舗装工事

■県道潮来佐原線道路改良整備事業（4車線化）
①L2100m、W2213m
②、総事業費13億円②2001年度③道路改良舗装工事

■一級河川前川整備事業Ⅱ①L3120m、総事業費20億円②1989年度③市道橋架け替え下部工事

■鹿嶋・波崎海岸侵食対策事業Ⅱ①ヘッドランド事業Ⅱ一式、総事業費125億円②1985年度




息栖大橋は常陸利根川を渡河する橋梁。災害時ににおける救援支援活動に不可欠なネットワーク機能の観点から、早急な震災対策が必要なため、橋脚のコンクリート巻き立て等の耐震補

③粗粒材養浜工一万2000m（ヘッドランド11～ヘッドランド12）

■息栖大橋耐震補強事業

①耐震補強橋脚8基、総事業費約22億円 ②2017年度～③耐震補強工事

県潮来土木事務所

所長 栗林 俊一 氏

潮来土木事務所の主要な事業として、道路事業では、交通の円滑化や災害時における緊急輸送道路ネットワーク機能の確保を目的とした、国道355号牛堀麻生バイパスの整備や都市計画道路富田佐田線バイパスの整備、息栖大橋（成田小見川鹿島港線）の耐震補強工事などを実施しています。

また、河川事業では、「かわまちづくり計画」に基づき潮来市内の一級河川前川の拡幅整備を進めています。

さらに、海岸事業では、砂浜の回復を目的に、鹿嶋海岸において養浜工事を実施しています。

今後とも、鹿行地域南部の更なる発展に向けて、交通円滑化の向上や日常生活の安心安全に資する社会資本整備に努めてまいります。

